



### 文化祭……

#### そろそろ出展の準備を

公民館では、十一月の文化祭を中心にして、文化協会の主催で文化祭を計画しています。

文化協会加盟の各団体や、趣味として一人で地道な創作活動に励んでいる方などふるって参加ください。

作品の搬入は今年三十一日までとなっております。

今年の文化祭行事は次のような日程で多彩な催しが予定されています、お楽しみに……

日	場	行	事
11月1日	(日)	岩室中学校	・生徒作品展 ・ステージ発表会(吹奏楽、意見発表) ・バザー ・PTA職員作品展 ・栄光の部(部活動、他) ・テレビ放送室(ビデオによる生徒活動放送) ・やきもの展覧(美術クラブ)
		岩室小学校	・児童作品展 ・文芸、教師の作品展 ・安齋バンド発表会
	(日)	和南小学校	・バザー ・婦人会作品展 ・空管バンド発表会、地区民謡会 ・PTA作品展
		蘭嶼小学校	・児童作品展 ・バザー売店 ・生花展 ・菊展 ・PTA作品展
11月1日/3日	(日/火)	公民館	・美術展(絵画、写真、書道、文芸、その他) ・生花展 ・絵画……油絵、水彩画、版画、デッサン等 ・写真……カラー、白黒(規格は不問) ・書道……条由、半紙、色紙、短冊等(形は不問) その他 ※出品数……1人何点でも差支えありません。 搬入搬出は各自でお願致します。
		盆 展 菊 花 展 3日: 岩室村自治功労者表彰式	
11月3日	(火)	静 閑 荘	岩室村自治功労者表彰式
11月8日	(日)	村民体育館	民謡発表会
		公民館	村民将棋大会

くうちに、しかたなく一人暮らしをせざるをえなくなりました。

あるテレビ番組でも見ました。家族と折り合いがつかず、しかたなく一人で暮らしているおじいさんの生活の様子をドキュメンタリー風に報道していたのです。年若い人ばかりで生活していかなければならぬ孤独なおじいさんの、暗く、さびしそうな表情が私の心を痛めました。そんな生活の中で一週間たった一度だけ、ある施設に勤めているおばあさん達がお弁当を作って持ってきてくれるのです。その時のおじいさんのうれしそうな表情が今でも思い出されます。きつと一週間たった一度だけその日がくるのを、首を長く

して待っているのでしょうか。そんな時だけ生きている喜びをしみじみと感じるのだそうです。

このテレビを見てなんともいえないやりきれないような、さびしい気持ちになりました。

そして私には、お年寄りをあたたかく迎えられる家族の気持ちがかどうも理解できないばかりか、腹立たしくさえ感じられました。

高齢化が進む社会にあつて、老人問題とその対策が国や地方公共団体の手で進められ、老人ホームや施設が整備されつつあることは、大切なことに違いないのはもちろんですが、決して手はなして喜んではいけない重大な問題がひそんでいっているように思えてなりません。

お年寄りだって同じ家族の一員であるはずなのに、どうして、お年寄りだけ区別して、しもう人がいるのでしょうか。考え方が古いとか、少し口やかましいというだけで邪魔者扱いにするなんて勝手すぎます。老人をやっかい者扱いにする大人には、子供を導き教育するねうちなど決まっていなと思います。

現在、私達や若い人は何と自由ない暮らしをしています。でもあと何年かすれば確実に年をとっていき、いつかはみんな老人になるのです。つまり老人問題は人ごとではなく私達一人ひとりの自分自身の問題として受けとめなければなりません。もっと広い目でものを見て、もっと広く豊かな心で考えていく必要があると思います。

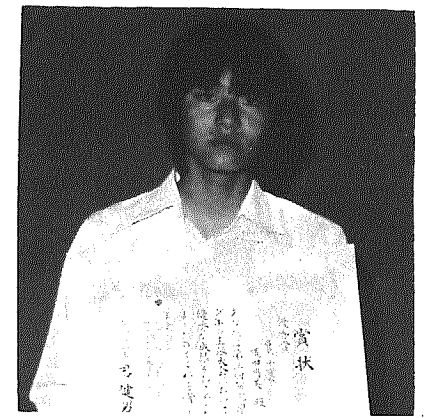
老人ホームや老人のための施設設備を増やすだけではいけません。そうする前に私達とお年寄りの心のふれ合いを大切にすることこそ大切だと思います。

テレビ番組でみたお年寄りに再び明るい笑顔を取りもどしてあげたい。いや、日本全国のお年寄りが暖かい家庭のかけがえのない一員として、楽しく心安らかに暮らせるように祈ってやみません。

そうなるよう努力することこそ私達なのです、今からでも遅くはありません、お年寄りを人生の先輩として楽しく豊かに暮らせるように心がけていきたいと思います。

## 青少年の主張 県大会

## 横田明美(岩中3年)さんの主張 「老人と私達」が優秀賞



▲「西蒲・燕地区大会で最優秀賞をもらったとき「まさか」と思いました。地区の代表として出場したんですから、精一杯がんばりました。」と喜びの横田さん

私はお年寄りには頭が上がりません、小さい時から何か何までおばあちゃんから世話をしてもらっていたんです。私が何かをするたびに手伝ってくれたり、いっしょにうれしがってくれたり、時には叱ってくれたのもおばあちゃんでした。

そんな身近なおばあちゃんが亡くなったのは二年前のことでした。今でも思い出されることは冬の寒い日に手足がごえるのではないかとと思うほど冷たくなって帰

ってくる時、いつもあたたかいおばあちゃんのことだけが待っていてくれるのでした。

そして「さあ、おたべ。」といつて、よくおせんべいをくれました。おばあちゃんのおせんべいはことにおいしかったように思います。

ある日、私が手がけがをして医者に行った時のことです。私は待合室で待っていると隣りに見知らぬおばあさんが座り、不思議そうに顔で私の方をじっと見ていられた

のでした。

「その手、どうしたのですか。」と心配そうに私の顔をのぞき込まれたのです。私はそのわけを詳しく話しました。すると私を本当にいたわってくれようような表情で熱心に聞いてくださるのです。その後もういろいろ他の事を話しかけてくださるのです。そのおばあさんに私は、ほのぼのとした温かみを感じ、いつの間にか私はやさしかった自分のおばあちゃんを思い出して、傷の痛みさえ忘れてしまっていたのです。

家に帰ってからもういろいろ考えてみました。私に話しかけてくれたおばあさんは、きっと楽しい家族の一員なんだろうなあ。そうでなければ、あんな楽しい話なんてできないだろうなあと思いましたが、しかし、このごろはお年寄りの一人暮らしが増えています。そうです。なぜ、一人暮らしのお年寄りが増えなくてはいけないのでしょうか。きつと家族の人に邪魔者扱いにされたり、冷たく扱われたりして

第三回、県青少年主張大会が、去る九月十三日、三桑市体育文化センターで開かれました。

この大会に、西蒲・燕地区を代表して参加した岩室中学校三年、横田明美さんの「老人と私達」の主張が優秀賞になりました。

横田さんは、「お年寄りの幸せのために私たちはどうすればいいのか」について自らの

体験などを折りこんで意見を發表したもので、この程、当日の発表内容が冊子になって、届けられましたので、全文を紹介し、横田さんの健闘を賛えたいと思います。

尚、西蒲・燕地区大会には、横田さんのほか岩中から、住吉みゆきさんも出場し優秀賞を獲得しました。

### 今月のスポーツ行事

- ◎第六回村民体育祭
  - 主催 体育協会、公民館
  - 期日 十月四日、十日、十一日
  - 場所 村民体育館他
  - 参加資格 村内に在住、在勤する人
  - 種目 野球、テニス、銃剣道、剣道、空手道、卓球、バレーボール
  - 表彰 各種目とも三位まで表彰し、参加者全員に参加賞を贈ります。
- ◎高齢者スポーツ教室
  - 期日 十月十五日(木)
  - 種目 ゲートボール
  - 時間 午前十時～十二時
  - 会場 村民野球場
- ◎婦人スポーツ教室
  - 期日 十月二十七日、二十八日
  - 種目 卓球
  - 時間 午後七時三十分～
  - 会場 村民体育館
- ◎体育館を一般開放で
  - きない日 十月十日、十一日、十八日

### チームの愛称・イメージカラーも決って さあ！ 18日は、村民大運動会

- |          |      |          |    |          |     |
|----------|------|----------|----|----------|-----|
| ① 間瀬チーム  | むらさき | ⑤ 桃太郎チーム | 水色 | ⑨ アトムチーム | 紺色  |
| ② 多宝チーム  | みどり  | ⑥ 鶴亀チーム  | 茶色 | ⑩ ポパイチーム | 竹色  |
| ③ だいろチーム | 灰色   | ⑦ 北親チーム  | 黄色 | ⑪ 和北チーム  | 青色  |
| ④ 三和チーム  | オレンジ | ⑧ 四ツ葉チーム | 赤色 | ⑫ 浦喜和チーム | ピンク |